

2020 年 7 月 28 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D ベトナム株式ファンド」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D ベトナム株式ファンド」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2020 年 7 月 27 日 基準価額(円)	2020 年 7 月 28 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T&D ベトナム株式ファンド	9,370	8,807	▲563	▲6.01

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020 年 7 月 24 日	2020 年 7 月 27 日	騰落率 (%)
VN 指数	829.16	785.17	▲5.31

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、7 月 24 日と 7 月 27 日を比較しています。

	2020 年 7 月 24 日	2020 年 7 月 27 日	騰落率 (%)
ベトナムドン(対円レート)	0.458	0.455	▲0.72

(ベトナムドンは小数点第 4 位四捨五入、騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

上記についてはベトナム株式の値動きの基準価額への反映を参考に、7 月 24 日と 7 月 27 日を比較しています。
為替レートは 100 ベトナムドン当たり、単位は円です。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

7月27日のベトナム株式市場は大幅に下落しました。米国政府が知的財産や米国民の個人情報保護を名目にテキサス州ヒューストンにある中国総領事館の閉鎖を決定したことを受けて、米中関係の悪化が懸念され、市場では投資家のリスク回避姿勢が強まりました。このような海外要因に加えて、ベトナムではこれまで新型コロナウイルスの感染拡大の抑制に相対的に成功してきたとみられていたものの、中部に位置するリゾート地ダナンにおいて新規感染者が確認され、感染拡大への警戒感が強まったことなどから、ベトナム株式は大きく値を下げる展開となりました。また、外国為替市場では米中関係の悪化への懸念が強まる中、安全資産としての円が選好されたことなどから、通貨ベトナムドンは円に対し下落しました。

このような市況の下、ファンドの基準価額は前営業日比で5%を超えて下落しました。

◆今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大の最悪期は過ぎたとの見方が広がり、アジアや欧米で経済活動再開の動きがみられる一方で、感染第2波への懸念や感染防止策としての経済活動の部分的な制限が世界経済に対して長期に亘り悪影響を及ぼす可能性への警戒感が金融市場には根強く残っています。感染拡大の抑制に相対的に成功してきたとみられていたベトナムにおいても、再び感染者が確認されたことから、当面ベトナム株式市場は変動性の高い展開となることも想定されます。しかしながら、ベトナムをはじめ各国では感染拡大の影響を受ける企業や家計に対する救済策が講じられているほか、各中央銀行も金融面での支援を継続しており、これらの対策が企業の資金繰りや家計の消費を円滑化させ、経済の回復につながるが見込まれます。さらに、ベトナムにおいては感染者の隔離や感染場所の封鎖といった厳格な感染防止策を継続しています。このようなことから、現時点の株価の急落は主に短期的なリスク回避の動きによるものと考えております。投資家のリスク回避姿勢が和らぐ局面では、相対的に有利な人口動態と海外直接投資等による豊富な資金流入を背景とした所得向上と消費市場拡大という長期成長ストーリーが再評価され、ベトナム株式市場は落ち着きを取り戻すとみています。

以上

* 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の0.6% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。